



入学式 令和7年度のスタート



春のあたたかさを柔らかに感じる4月8日、84名の新入生を迎え、入学式が行われました。新入生は適度な緊張の中で堂々と入場し、一人ひとりが一生懸命な返事をする事ができました。2・3年生は心を込めて準備をし、穏やかな雰囲気と美しい歌声で、歓迎の気持ちを伝えることができました。また、生徒会長のIさんからは四中伝統の二大行事やあいさつのよさについての紹介を交え、どんな時でも支え合う仲間がいること、そばで見守る先生や保護者の方々がいること、そして先輩である自分たちをいつでも頼ってほ

しいことを伝える頼もしい歓迎の言葉が贈られました。校長先生からは「四中の教育目標『一人で歩める 共に歩める』を実現し、充実した生活を送るための心構えとして、四学区にある藩校致道館の『自学自習』『個性伸長』『会業』の精神と、「見えない学力」を伸ばすたくましさを持ってほしいとお話がありました。「見えない学力」を伸ばすためには「人を大切にする力」「自分の考えを持つ力」「自分を表現する力」「チャレンジする力」を意識して生活することで、その三年間の積み重ねから「見える学力」も身につけていくというお話でした。

令和7年度が本格的にスタートしています。

新入生代表のあいさつは Sさん が行いました

桜の蕾が大きくふくらむ春。僕たちは、新たな門出を迎えました。本日はこのような素晴らしい式を開いてくださり、ありがとうございます。僕たち84名の新入生は、中学校生活での期待や不安を胸に抱きながら、今日この日を迎えました。

これから過ごす四中生としての生活の中で楽しみなことがあります。それは、学習です。小学校では、算数の学習が好きでした。なので、プラス、マイナスなどを学べるのが楽しみです。中学校では、小学校と比べて学習のレベルが高くなるということを聞いています。また、教科毎に担当する先生が変わることなど今までの生活とは大きく違うところもありますが、一つひとつの学びを大切に、一歩一歩着実に生活していきます。また、生徒会活動も楽しみの一つです。今までの生活を振り返ると、リーダーとしての責任がまだ不十分であったり、先を見通した活動ができていなかったりしていました。そのために、学校や自分たちの生活がより良くなるように積極的に参加し、意見を出せるようにしたいです。そして、力を合わせて学年としての絆も深めていけるようにしたいです。

もちろん、期待や楽しみだけでなく、不安な点も多々あります。それは、小学校と生活が変わることです。学習の時にも言いましたが、教科毎に担当する先生が変わるなど、いろいろなことが変わるのが不安です。ですが、これから始まる四中での生活の中で自分のことを見つめ直し、得意や不得意を見つけ、よりよい自分を目指していきます。そのためにも、先輩方、先生方からしっかりと学んでいきたいです。

最後に僕たちは四中生として自覚と責任を持ち、何事にも一生懸命に取り組みます。先生方、先輩方、並びにご来賓の皆様、温かく時には厳しくご指導くださいますようお願いいたします。



令和7年度 鶴岡第四中学校職員一覧

HP への掲載は差し控えさせていただきます



4月7日の始業式では、副会長 S さんが 新年度の抱負を述べました

皆さん昨年度の学校生活はどうでしたか。わたしは昨年度を振り返り、今年度さらに良くしていきたいと考えたことは学校生活への意識です。

執行部では学校生活の質をより高め、気持ちよく学年の最後を迎えたいと話をしていました。そこで、MVC という企画を行いました。MVC 期間中は企画を行う前よりも、授業前学習や授業に取り組む姿勢、先生へのあいさつなどが活発に行われていました。また、時間への意識がよりよいものになったので継続していきましょう。一方で、生徒間でのあいさつが少ないクラスや、スタートはよくてもその結果を継続できない、企画後に悪くなってしまうクラスなどがありました。結果を踏まえ悪かったところを改善し、より質の高いものにしましょう。新一年生も新しく入ってくるので、学校生活からお手本を見せられるようにしましょう。

二、三年生の皆さん、昨年度全体を振り返り、今年度どのような学校生活を送りたいかをしっかりと考え、後輩にいい姿を見せ、去年より成長できる1年にしましょう。

9日には「四中を知る会」で執行部が作った動画入りのスライドで、四中生活が活気にあふれながら、礼儀正しいものになるように詳しく説明がありました。10日には「新入生歓迎会」で部活動紹介、体育祭の色決め（縦割りクラスの決定）がなされ、これからの生活が楽しみになるような生き生きとした雰囲気の会になりました。執行部や各部部长などリーダーを中心に準備を行い、新1年生とともに今年度の四中を創っていかうとする姿がたくさんみられました。

また今年度のスタートにあたって、令和6年度の卒業生から全校一人ひとりの机の中にメッセージがありました。後輩たちのスタートを思う、あたたかい気持ちのつながりを感じます。

